

# 平成 30(2018)年度事業報告

## I 観光及び物産振興事業の企画・実施及び支援事業

### 1 受入体制整備事業

#### (1) 表彰事業

本県の観光振興及び物産振興に功績があった者・施設等を当協会の総会の席上、会長が表彰した。

ア 観光・物産事業功労者（2名） 齋藤 高蔵 様  
野澤 修二 様

イ 観光功労施設等（4施設） 宇都宮カクテル倶楽部 様  
三菱地所・サイモン株式会社 佐野プレミアム・アウトレット 様  
道の駅どまんなかたぬま 様  
益子焼窯元共販センター 様

また、本県観光事業の振興に特に貢献された方を、(公社)日本観光振興協会関東支部長に推薦し、表彰された。

ア (公社)日本観光振興協会関東支部長表彰  
(平成30(2018)年5月29日第55回支部総会)  
北村 光弘 様  
元(公社)栃木県観光物産協会副会長、元 宇都宮観光コンベンション協会長

#### (2) 催物等助成事業

国や県をはじめ、県内市町や各地区観光協会等主催の各種イベントを後援するなど、それらの事業を広く支援した。

・後援件数 23件

#### (3) とちぎ観光ホスピタリティ事業

観光関係団体が行う、ホスピタリティ研修の主催者に補助金を交付した。

ア 栃木県タクシー協会

##### (7)第1回

- ・開催日 平成30(2018)年10月1日(月)～4日(木)
- ・開催場所 栃木県自動車整備振興会研修室

##### (1)第2回

- ・開催日 平成30(2018)年11月19日(月)～20日(火)
- ・開催場所 栃木市国府公民館

(ウ)第3回

- ・開催日 平成30(2018)年11月21日(水)
- ・開催場所 足利市民プラザ

(エ)第4回

- ・開催日 平成31(2019)年2月7日(木)
- ・開催場所 日光市日光総合会館

(オ)第5回

- ・開催日 平成31(2019)年2月8日(金)～9日(土)
- ・開催場所 氏家商工会

イ 栃木県バス協会

- ・開催日 平成31(2019)年2月20日(水)～21日(木)
- ・開催場所 栃木県自動車整備振興会

(4) 県域版DMO形成促進事業(県補助事業)

ア 観光戦略マーケティング調査

ビッグデータ等を活用した観光マーケティング調査を実施するとともに、観光に係る多様な関係者による研究会を設置し、観光地経営の視点に立った県域版DMOとしての取組を推進した。

第1回研究会を平成30(2018)年9月25日(火)、第2回を平成30(2018)年12月12日(水)、第3回を平成31(2019)年2月1日(金)、第4回を平成31(2019)年3月25日(月)に開催した。

イ 北関東三県連携観光物産フェアの開催

北関東三県の連携を図り、広域周遊観光を促進するため、観光施設及び観光地の紹介、周遊型観光モデルコースの提案、商談会、土産物等の紹介、販売を行った。

- ・開催時期 平成30(2018)年10月6日(土)～7日(日)
- ・開催場所 東京スカイツリータウン4階スカイアリーナほか

(5) オールとちぎでおもてなし推進事業管理運営事業(県委託事業)

県民一人ひとりが本県を訪れた方々への感謝の気持ちや思いやりを「おもてなし」として形に表すため、県内の企業、団体、個人等を「おもてなしいちご隊」として募集し登録を行い、「おもてなし」を実践することで、本県への更なる誘客促進を図った。

登録者には、登録証及び「おもてなしいちご隊缶バッジ」等を交付した。

- ・登録期間 登録日～令和2(2020)年3月31日

※平成31(2019)年3月31日現在

- ・登録件数 延べ 1,113 件
- ・登録人数 延べ 45,240 人

また、本県で「受けられたおもてなし」と「実践されたおもてなし」のエピソードを募集した。集まったエピソードの中から優良エピソードを20件選出し、優良エピソードが掲載されたエピソード集を10,000部作成し、エピソード集をWEB特集ページに掲載した。

- ・応募期間 平成30(2018)年8月1日(水)～11月30日(金)
- ・応募件数 162件

## 2 とちぎ特産品推奨事業

- (1) 県産品の品質の向上、需要の拡大及び取引の増進を図るため、製造又は加工の最終工程が県内で行われた商品(県産品)の中から「とちぎ特産品」を推奨(有効期間3年間)した。

また、認定した「とちぎ特産品」について、当協会のホームページで公開するとともに、「とちぎ特産品ガイド」を発行し、その普及、宣伝に努めた。

- ・とちぎ特産品審査委員会開催日 平成31(2019)年2月4日(月)
- ・申請業者数及び申請品目数 46業者 107品目
- ・推奨数 102品目(計182品目)

- (2) 県産品の普及を図るため、県産品関係企業、流通関係企業、商工団体等との連携を強化するとともに、物産関係者に対し、適正な食品表示等について「県産品流通実践セミナー」を開催し、新たに施行された食品表示法等について周知を図った。

- ・開催時期 平成30(2018)年11月27日(火)
- ・参加者数 18名

## 3 栃木県のブランド力向上事業(県委託事業)

- (1) 栃木県内の県産品事業者に対し、首都圏等で開催される見本市への出展を支援することにより、本県の認知度及びブランド力の向上を図った。

ア FOOD EX JAPAN 2019 全国食品博

- ・開催時期 平成31(2019)年3月5日(火)～8日(金)
- ・開催場所 千葉市 幕張メッセ
- ・出展者数 16社

## II 観光及び物産情報の収集・提供事業

### 1 観光・物産情報発信事業

- (1) インターネット事業(県補助事業)  
多様な観光・物産需要に対応するため、既存の観光・物産部門のみならず、商工・農

林業団体や市町等との連携を図りながら、平成 26(2014)年度にリニューアルしたホームページ「とちぎ旅ネット」を運営した。

ホームページは、最新の情報提供を心がけるとともに、シーズンの注目情報や画像を多く取り入れながら、多様化する観光客のニーズに応えるべく内容の充実を図った。

- ・平成 30(2018)年度アクセス数 7,056,153PV (対前年度比 133%)

- ・メールでの問い合わせ件数 377 件 (対前年度比 103%)

内訳：パンフレット請求 267 件、質問等 110 件

#### ア 観光資源・名産品の紹介

観光写真ダウンロードコーナーにおいては、本県の観光資源の写真を掲示・提供した。

- ・写真使用申請件数 278 件 (対前年度比 103%)

#### イ 情報の発信

ホームページにおいて、多様化する観光客のニーズに応えるため、各市町、各地区観光協会等から寄せられた情報を基に、シーズン毎の各観光地における注目情報や画像を多く取り入れる等内容の充実を図り、お祭りやイベント、花、紅葉の情報など最新の観光に関わる情報を発信した。

#### ウ 通訳案内士の紹介

栃木県内の通訳案内士及び栃木県地域限定通訳案内士の紹介をホームページにおいて行った。

### (2) インターネット事業 (県委託事業)

「とちぎ旅ネット」外国語サイト[英語、中国語(繁体字、簡体字)、韓国語、タイ語、フランス語]においてスポット情報の追加翻訳、緊急災害情報ページの新設等を行い、アフターDC や東京オリンピック・パラリンピックの開催に向けて、急増する本県への外国人観光客のニーズに応え、海外への情報発信を強化した。

### (3) 観光情報多言語情報発信事業 (県委託事業)

SNS を活用し、英語、中国語(繁体字)による情報発信を行い、本県への外国人観光客への情報発信を強化した。

- ・英語版 Facebook いいね! : 2,128 件 フォロワー : 2,172 人

- ・繁体字版 Facebook いいね! : 2,069 件 フォロワー : 2,120 人

### (4) 観光情報発信事業 (県補助事業)

#### ア 観光情報収集活動

県・市町・各地区観光協会・観光関係業者等から、メール、FAX 等により適宜観光情報を総合的に収集するとともに、必要に応じ電話や現地に出向き写真撮影等の取材活動を実施した。

#### イ パブリシティ活動

(ア) 記者クラブ定例連絡会

毎月「観光情報誌」を作成し、東京の記者クラブ定例連絡会（毎月第3火曜日開催）に情報提供を行った。

- ・構成団体：レジャー記者クラブ（12社）、ラジオ・テレビレジャー記者会（44名）、日本旅行記者クラブ（32名）、フリー（32名）

- (イ) 記者クラブ以外のマスコミや旅行エージェント等にも情報提供を行った。
- (ウ) 情報連絡会議・取材協力

#### ウ 観光・物産に関する相談・対応

近年の電話等による観光・物産に関する相談内容は多種多様であり、その対応には、各関係機関等との連絡調整が必要不可欠となっている。

そこで、広く各方面からの動態情報等の収集を行い、正確な情報の提供、発信に努めた。特に、市町から収集した観光情報のデータを四季折々のテーマ毎に整理し、それぞれの観光地の自然や文化・歴史等の紹介とともに提供した。

- ・季節感のある情報 花、果物狩り、やな、体験、道路閉鎖・開通情報等
- ・トピックス 新規施設オープン、特別公開、交通機関情報等
- ・祭り・イベント情報 月別
- ・観光地の紹介 温泉、自然、歴史・文化、見所、交通アクセス等

#### (5) 観光栃木の魅力を創る「女将の会」キャラバン支援事業

JR東北・山形新幹線、東北自動車道・東北中央自動車の利用により交通アクセスが至便である南東北、とりわけ福島・山形地域からの更なる誘客促進を図るとともに、来春のアフターデスティネーションキャンペーン（平成31（2019）年4月～6月）PRを併せて実施した。

また、近年南東北地区でインバウンド宿泊客数の増加が著しい山形蔵王温泉の宿泊施設で、インバウンド受け入れの現状を視察研修した。

- ・実施日 平成30(2018)年11月28日（水）～29日（木）
- ・訪問先 JR福島駅（パンフレット配布）、かみのやま温泉 日本のおもてなし研修（おもてなし研修）、山形新聞社（観光キャラバン）、蔵王温泉タカミヤホテル（インバウンド推進施設の視察研修）
- ・参加者 女将12名 事務局2名

## 2 「本物の出会い 栃木」観光キャンペーン事業

### (1) 「本物の出会い 栃木」デスティネーションキャンペーン実行委員会委託事業

#### ア 「本物の出会い 栃木パスポート season2」事業

平成26(2014)年度から3箇年継続してきた当事業を平成29(2017)年度から3年間延長し、栃木県を訪れる観光客の方々に、より長く県内に滞在し周遊していただき、更なる誘客促進を図るために、「本物の出会い 栃木パスポート season2」を引き続き発行した。

パスポートには、スタンプラリーやクーポン機能をつけ、県内全域の土産店、

飲食店、レジヤ施設による特別料金や粗品プレゼント等のサービスを提供した。

平成 29(2017)年度に電子化したパスポートを平成 30(2018)年 4 月から新たに導入し、冊子版と併用して実施した。

- ・実施期間 平成 29(2017)年 4 月 1 日～令和 2 (2020)年 3 月 31 日 (3 年間)

※平成 31(2019)年 3 月 31 日現在

- ・参加おもてなし施設 1,011 施設
- ・パスポート発行所 99 施設
- ・パスポート発行冊数 (平成 26(2014)年度からの累計冊数)
  - ファーストステージ 延べ 498,497 冊
  - セカンドステージ 延べ 23,779 冊 (ファーストステージクリア)
  - サードステージ 延べ 12,888 冊 (セカンドステージクリア)
  - 全ステージクリア 延べ 6,914 冊 (サードステージクリア)
- ・電子版パスポート (アプリ版)
- ・利用者数 (ダウンロード者数) 5,971 人
  - 内スタンプ 1 つ以上スタンプ捺印ユーザー 1,823 人
  - ファーストステージクリア 延べ 112 人
  - セカンドステージクリア 延べ 23 人
  - サードステージクリア 延べ 9 人

#### イ デスティネーションキャンペーン (DC) 専用サイト運営事業

平成 29(2017)年 3 月にオープンした DC 専用サイトの管理運営を行った。平成 30(2018)年の「本物の出会い 栃木」デスティネーションキャンペーン (DC) 期間中の特別企画及び平成 31(2019)年のアフター DC 期間中の特別企画などの情報を中心に発信し、本県への更なる誘客促進を図った。

#### (2) 「本物の出会い 栃木」観光キャンペーン推進協議会事業

##### ア 観光キャラバン (委託事業)

平成 31(2019)年の「本物の出会い 栃木」アフターデスティネーションキャンペーン (アフター DC) の開催に向け、東京都、神奈川県、千葉県、埼玉県、茨城県、群馬県、宮城県等のマスコミ、旅行エージェント、バス会社、鉄道会社等に対し、本県への更なる誘客促進に向けた観光キャラバンを実施した。

また、平成 30(2018)年 7 月の栃木県大阪センターの開所に合わせ、関西方面での観光キャラバンも実施した。

#### (7) 平成 30 年度「本物の出会い 栃木」観光キャラバン (大阪)

##### (a) 「栃木県大阪センター」開所式

- ・実施日 平成 30 (2018) 年 7 月 30 日 (月)
- ・出席者 当協会役員 13 名、随員 1 名、

観光栃木の魅力を創る「女将の会」2名、事務局1名

(b) 観光キャラバン

- ・実施日 平成30(2018)年7月31日(火)
- ・訪問先 JTB西日本仕入商品企画部、毎日新聞社大阪本社、読売新聞社大阪本社
- ・参加者 当協会役員12名、随員1名、  
観光栃木の魅力を創る「女将の会」2名、事務局1名

(イ) 観光展に合わせた観光キャラバン

平成30年度「本物の出会い 栃木」観光キャラバン

【ふるさと観光展 IN 仙台駅】

(a) 観光キャラバン

- ・実施日 平成30(2018)年10月9日(火)
- ・訪問先 JTB国内仕入、近畿日本ツーリスト東北、日本旅行東北
- ・参加団体 足利市観光振興課、真岡市観光協会、黒磯観光協会、  
栃木県観光交流課、当協会

(b) 第27回ふるさと観光展 IN 仙台

- ・実施日 平成30(2018)年10月10日(水)～12日(金)
- ・実施場所 JR仙台駅2階コンコース(ステンドグラス前)
- ・参加団体 平成30(2018)年10月10日(水)  
那須町・那須町観光協会  
平成30(2018)年10月11日(木)  
宇都宮市観光コンベンション協会、栃木市、  
真岡市観光協会(PRステージイベント)、  
壬生町(PRステージイベント)、那須町・那須町観光協会  
平成30(2018)年10月12日(金)  
宇都宮市(PRステージイベント)、那須町観光協会、  
那珂川町観光協会・馬頭温泉保護開発協会、
- ・実施内容 PRステージ、パンフレット配布

(ウ) 「本物の出会い 栃木」アフターデスティネーションキャンペーン(DC)に向けた商品造成促進キャラバン(東京都)

- ・実施日 平成30(2018)年11月8日(木)
- ・訪問先 JTBガイアレック、農協観光、はとバス
- ・参加団体 (一社)日光市観光協会、大田原市商工観光課、矢板市商工観光課、  
那須町観光商工課、宇都宮観光コンベンション協会、  
足利市観光振興課、栃木県観光交流課、当協会
- ・実施日 平成30(2018)年11月13日(火)
- ・訪問先 東武トップツアーズ、びゅうトラベルサービス、日本旅行
- ・参加団体 大田原市観光協会、(一社)那須塩原市観光局、那須町観光商工課、

宇都宮市観光交流課、那須烏山市商工観光課、足利市観光振興課、  
小山市商業観光課、真岡市観光協会、市貝町観光協会、  
栃木県観光交流課、当協会

- ・実施日 平成30(2018)年11月14日(水)
- ・訪問先 ジェイティービー、クラブツーリズム
- ・参加団体 大田原市観光協会、(一社)那須塩原市観光局、  
(一社)那須町観光協会、宇都宮観光コンベンション協会、  
さくら市商工観光課、足利市観光振興課、小山市商業観光課、  
真岡市観光協会、市貝町観光協会、栃木県観光交流課、当協会

- ・実施日 平成30(2018)年11月15日(木)
- ・訪問先 近畿日本ツーリスト首都圏、京王観光
- ・参加団体 (一社)日光市観光協会、大田原市商工観光課、  
(一社)那須塩原市観光局、(一社)那須町観光協会、  
宇都宮市観光交流課、足利市観光振興課、小山市商業観光課、  
栃木県観光交流課、当協会

(エ) 「本物の出会い 栃木」アフターデスティネーションキャンペーン(DC)に  
向けた春の観光キャラバン

**【埼玉県・東京都】**

- ・実施日 平成31(2019)年2月18日(月)
- ・訪問先 JR大宮支社、JR東京支社
- ・参加団体 (一社)日光市観光協会(大宮のみ)、(一社)那須塩原市観光局、  
(一社)那須町観光協会、鹿沼市観光交流課、那須烏山市商工観光課、  
(一社)栃木市観光協会、茂木町地域振興課(東京のみ)、市貝町  
観光協会、芳賀町商工観光課(大宮のみ)、栃木県産業労働観光部、  
栃木県観光交流課、当協会

**【茨城県・千葉県】**

- ・実施日 平成31(2019)年2月19日(火)
- ・訪問先 JR水戸支社、JR千葉支社
- ・参加団体 (一社)日光市観光協会(千葉のみ)、  
(一社)那須塩原市観光局(千葉のみ)、那須町観光商工課、  
さくら市商工観光課(水戸のみ)、(一社)栃木市観光協会、  
小山市商業観光課、益子町観光商工課(水戸のみ)、  
芳賀地区広域行政事務組合(千葉のみ)、栃木県産業労働観光部、  
栃木県観光交流課、当協会

**【神奈川県・東京都】**

- ・実施日 平成31(2019)年2月20日(水)
- ・訪問先 A・Bコース共通 JR横浜支社  
Aコース 交通新聞社、JTBパブリッシング  
Bコース 旅行読売出版社、昭文社
- ・参加団体 Aコース (一社)那須塩原市観光局、宇都宮市観光交流課、  
那須烏山市商工観光課、栃木県観光交流課、当協会  
Bコース 日光市観光振興課、(一社)那須町観光協会、  
那須烏山市観光協会、栃木市観光振興課、  
真岡市観光協会、栃木県東京事務所、当協会

#### 【東京都・群馬県】

- ・実施日 平成31(2019)年2月21日(木)
- ・訪問先 JR八王子支社、JR高崎支社
- ・参加団体 日光市観光振興課、(一社)那須塩原市観光局、那須町観光商工課、  
(一社)足利市観光協会(高崎のみ)、栃木市観光振興課(八王子のみ)、  
芳賀地区広域行政事務組合(高崎のみ)、栃木県観光交流課、当協会

#### 【宮城県】

- ・実施日 平成31(2019)年2月22日(金)
- ・訪問先 JR仙台支社、プレスアート
- ・参加団体 日光市観光振興課、(一社)那須町観光協会、那須烏山市商工観光課、  
足利市観光振興課、(一社)栃木市観光協会、真岡市観光協会、  
真岡鐵道株式会社、栃木県観光交流課、当協会

#### イ 観光アプリ運営事業(補助事業)

平成29(2017)年2月28日、App Store、Google Play Storeから配信を開始した観光アプリケーション「とち旅 Tochi-tabi」の管理運営を行った。

アプリケーションは、とちぎ旅ネットと連動し、観光施設の検索やナビゲーションといった機能はもとより、選択したスポットを自動的に最適な順番に並び替える「自動ルート作成機能」、時間や目的、気分等にあわせた旅程を自動でコーディネートする「コンシェルジュ機能」など、初めて栃木県を訪れた方にも、効率よく観光を楽しんでいただける機能を備えている。

- ・ダウンロード件数 延べ15,730件

#### 3 観光宣伝印刷物制作・配布事業(県補助事業)

栃木県の優れた観光資源や見どころなどの情報を網羅した全県マップを作成・配布し、県内各地への誘客促進を図った。

- ・観光地図 A1サイズ(長辺1回折後蛇腹5山)14万部

#### 4 観光物産展等開催事業

(1) 県内外から県内各地への誘客促進を図るとともに、県産品の販路拡張を推進するため、県内外の百貨店等を会場として、次の観光物産展等を開催した。

- ア 第27回お国自慢 味・技くらべ（平成30年5月3日～8日：さっぽろ東急百貨店）
- イ 全国アンテナショップフェア（平成30年8月1日～6日：丸広百貨店川越店）
- ウ 第21回栃木・福島の物産と観光展（平成30年8月23日～29日：東武百貨店船橋店）
- エ 栃木マルシェ（平成30年9月13日～15日：高島屋大宮店）
- オ 第2回神奈川と栃木の物産と観光展（平成30年10月23日～30日：福田屋百貨店インターパーク店）
- カ 第8回とちぎ・いばらき・ぐんまの物産と観光展（平成31年2月13日～18日：福田屋百貨店宇都宮店）
- キ 「とちぎマルシェ」～とちぎのものづくり体験マルシェ（平成31年2月20日～27日：福田屋百貨店インターパーク店）
- ク ふらり4県味と技めぐり～長野・群馬・栃木・茨城物産展～出展調整（平成31年3月6日～11日：丸広百貨店川越店）

(2) 食品催事等の開催

- ア とちぎの観光と物産フェア（平成30年6月14日～18日：イオン小山店）
- イ 栃木フェア（平成30年11月2日～6日：アピタ宇都宮店）
- ウ その他 栃木県等から紹介された観光物産イベント等へ参加した。
  - ・全国経済同友会セミナー出店（平成30年4月20日：栃木県総合文化センター）
  - ・関東甲信越地区中学校長会出店（平成30年6月13日～14日：栃木県総合文化センター）
  - ・関東地区高等学校PTA連合会出店（平成30年7月6日：マロニエプラザ）
  - ・マロニエプラザ感謝祭出店（平成30年8月18日：マロニエプラザ）
  - ・ツーリズムEXPOジャパン2018参加（平成30年9月22日～23日：東京ビッグサイト）
  - ・みぶハイウェイパーク秋季みらい館まつり出店（平成30年10月6日～8日：みぶハイウェイパーク）
  - ・栃木産直市 in 大宮駅（平成30年10月16日～19日：JR大宮駅西口イベントスペース）
  - ・秋のふれ愛感謝市2018出展調整（平成30年11月10日～11日：キセキ関東甲信越栃木事務所敷地内）
  - ・全国市議会議長会出店（平成30年11月14日～15日：宇都宮市文化会館）
  - ・とちぎものづくりフェスティバル2018出展調整（平成30年11月17日～18日：栃木県立県央産業技術専門学校）
  - ・東武ファンフェスタ出店（平成30年12月2日：東武鉄道南栗橋車両管区）
  - ・とちぎ技術展示商談会 in カルソニックカンセイ出店（平成31年1月24日：さいたま市）
  - ・「いちご王国・栃木」フェア in KITTE 出店（平成31年2月9日：JPタワーKITTE）
  - ・「いちご王国・栃木」フェア in Osaka 出店（平成31年3月2日：ディアモール大阪）
  - ・春のふれ愛感謝市2019出展調整（平成31年3月9日～10日：キセキ関東甲信越栃木事務所敷地内）

(1) DCに絡めて、JRグループ等と連携し物産展等を展開することにより、県内外から県内各地への誘客促進を図るとともに、県産品の販路拡張を推進した。

ア 宇都宮市 オリオンACプラザ

・平成30(2018)年4月15日～6月30日(オリオンACプラザ販売協力)

イ さいたま市 JR大宮駅西口イベントスペース

・平成30(2018)年4月10日～13日(栃木産直市in大宮駅)

ウ 東京駅 東北新幹線南改札口スペース

・平成30(2018)年4月14日～22日(栃木いちご一会)

エ 新宿区 アトレ四ツ谷

・平成30(2018)年5月15日～17日(栃木ミニ物産展「とちのものの市」)

オ その他

・上記以外、DCに関連して紹介される催事・観光イベント等に、随時対応した。

## 6 伝統工芸品普及事業

### (1) 常設展示場運営事業

ア 栃木県庁舎15階常設展示(県委託事業)

栃木県指定の伝統工芸品に対する理解と認識を深め、その普及・宣伝を図るため、栃木県庁舎15階の「県政展示コーナー」に常設展示し、年2回展示替を実施した。

イ JR宇都宮駅ビル2階パセオ「とちぎグランマルシェ」内における栃木県伝統工芸品展示(平成29(2017)年5月24日～)

### (2) 栃木県伝統工芸品展開催事業(県委託事業)

宇都宮市内のショッピングモールにおいて、伝統工芸品の展示・販売のほか、伝統工芸品の製造者“匠“(伝統工芸士)による製作実演や製作体験を実施し、匠との交流の機会を設けた。

ア 「とちぎの伝統工芸品展 in ベルモール」

・開催時期 平成30(2018)年8月10日(金)～11日(土・祝)

・開催場所 ベルモール1階カリヨンプラザ

## 7 栃木県観光物産振興員配置事業(県委託事業)

県内外で開催する大型イベントや観光・物産展、キャンペーン等を活用し、本県への観光誘客を積極的かつ効果的に行っていくため、魅力ある観光資源や県産品に関する知識を有した「とちぎおもてなしメイツ」により、観光誘客や県産品ブランドの向上に繋がるPRや情報発信に努めた。

### Ⅲ 観光及び物産関係団体との連絡協調事業

#### 1 観光展参加事業

##### (1) 夏の観光展

(公社) 日本観光振興協会関東支部が主催する観光展に共同出展し、埼玉県の方々に、夏の関東甲信越静の観光情報を提供するとともに、ステージで観光PRを行い、関東甲信越静地域への観光客誘致を図った。

- ・開催期間 平成30(2018)年6月15日(金)～17日(日)
- ・開催場所 JR大宮駅コンコース(さいたま市)

##### (2) ツーリズムEXPOジャパン2018

アジア最大、世界でも最大級の旅の祭典となったツーリズムEXPOジャパン2018に出展する栃木県と連携し、国内のみならず広く世界に、「栃木県」をPRした。

- ・開催期間 平成30(2018)年9月20日(木)～9月23日(日)
- ・開催場所 東京ビッグサイト(東京都)

##### (3) 第27回ふるさと観光展 IN 仙台駅

(公社) 日本観光振興協会関東支部が主催する「ふるさと観光展」に共同出展し、宮城県の方々に、秋の関東甲信越静の観光情報を提供するとともに、ステージで観光PRを行い、関東甲信越静地域への観光客誘致を図った。

- ・開催期間 平成30(2018)年10月10日(水)～12日(金)
- ・開催場所 JR仙台駅2階コンコース(ステンドグラス前)(仙台市)

##### (4) 東武ファンフェスタ

東武鉄道(株)が主催する「東武ファンフェスタ」に参加し、来場者に本県の観光と県産品のPRを行い、観光客の誘致促進を図った。

- ・開催時期 平成30(2018)年12月2日(日)
- ・開催場所 東武鉄道株式会社 南栗橋車両管区(久喜市)

##### (5) 誘客促進対策事業

上記以外、本県への誘客促進に資する事業に、随時積極的に対応した。

- ・平成30(2018)年の本DC、平成31(2019)年のアフターDC関連事業に係る事業

#### 2 観光関連団体等との連絡協調事業

##### (1) (公社) 日本観光振興協会連携事業

###### ア 情報センター事業

(公社) 日本観光振興協会の全国観光情報データベース情報の更新を行い、県内全市町の情報を、(公社) 日本観光振興協会のホームページを通じてマスコミ、旅

行エージェント及び一般に広く提供した。

イ 関東ブロック観光宣伝資料作成事業（関東甲信越静観光協会・連盟協議会）

全国観光広域振興事業の一環として、関東甲信越静の観光ポイントを掲載した観光ガイドブック中国語版（繁体字）に修正を加え、台北国際旅行博等で配布し、台湾からの誘客促進を図った。

- ・冊子名称 MID JAPAN（関東甲信越静広域観光情報誌）
- ・作成部数 2,000部

(2) 観光関連団体等との連絡協調

東日本旅客鉄道（株）、東武鉄道（株）、（公社）日本観光振興協会、（一社）日本温泉協会等をはじめ、県内外の観光及び物産関係団体等と緊密に連絡、協調して本県観光の振興を図った。

## IV 外国人旅行者に対する情報提供事業

1 第26回台北国際旅行博（ITF2018）

台湾からの観光客の誘致を図るため、関東ブロック広域観光振興事業推進協議会として出展し、本県観光のPRを行った。

- ・開催期間 平成30(2018)年11月23日（金）～26日（月）
- ・開催場所 台湾・台北市南港展覽館

2 高雄市旅行公会冬季国際旅展（KTF2018）出展事業

(1) 高雄市旅行公会冬季国際旅展 ブース出展

高雄からの観光客の誘致を図るため、本県の観光をPRした。また、本県旅行商品を造成している旅行会社との連携による販促支援活動を行った。

- ・開催期間 平成30(2018)年11月30日（金）～12月3日（月）
- ・開催場所 台湾・高雄市展覽館

(2) 観光情報説明会

高雄市の旅行会社を招待し、本県のPRを実施した。

- ・開催日 平成30(2018)年11月30日（金）
- ・開催場所 台湾・高雄展覽館3階302e会議室

(3) 高雄市セールスコール

高雄市の旅行会社に訪問し、本県観光のPRを行うほか、平成30(2018)年2月に（社団）高雄市観光協会と（公社）栃木県観光物産協会とで観光交流に関する覚書を締結したことから、高雄市政府にも表敬訪問を行い、関係者と意見交換を行った。

- ・開催日 平成30(2018)年12月3日（月）

- ・訪問先 京城旅行社、百威旅行社、高雄捷運（高雄MRT）、高雄市觀光局、高雄市教育局

(4) 台北市セールスコール

台北市の旅行会社に訪問し、本県観光のPRを行った。

- ・開催日 平成30(2018)年12月4日(火)
- ・訪問先 Aコース：長汎旅行社、盈達旅行社 Bコース：易飛網、金門県教育處

(5) 香港観光キャラバン及び観光情報説明会への参加

- ・開催日 平成30(2018)年12月20日(木)～22日(土)
- ・訪問先 観光キャラバン：JTB香港、角川香港  
観光情報説明会：香港旅行会社やメディア 23社

## V 観光・物産情報発信施設の運営

### 1 「おいでよ！とちぎ館」の管理運営

宇都宮市本町合同ビル1階に設置している、当協会事務所兼直営店の「おいでよ！とちぎ館」において、観光及び県産品の振興機能の強化及び情報発信・提供を行った。

#### (1) おいでよ！とちぎ館の概要

- ・店舗面積 102.89 m<sup>2</sup>
- ・出展者 165 業者
- ・営業時間 午前9時～午後7時(月～金)  
午前10時～午後5時(土)(祝日・年末年始を除く)

#### (2) 利用状況

- ア 入館者数 21,806名(74名/日)
- イ 購入者数 8,366名(29名/日)

#### (3) その他イベント等

##### ア 店頭販売(年間2回実施)

「おいでよ！とちぎ館」前の共有スペースにおいて、県内食品事業者による物販を実施した。

##### イ 1日限定屋外イベント(年間2回実施)

「おいでよ！とちぎ館」のPRのため、屋外共有スペースにイートインコーナーを設置し、ランチや飲み物、特産品等を販売した。

##### ウ 餅つき大会

「おいでよ！とちぎ館」前の屋外共有スペースにおいて、春日野部屋力士による餅つき大会を実施した。(平成30年12月7日)

## VI 県産品の販売事業

### 1 「とちびより」の管理運営

JR宇都宮駅2階、駅ビルパセオ「とちぎグランマルシェ」内に出店している、当協会直営店の「とちびより」において、県産品の普及・宣伝と販路拡張を推進するため、展示販売を行った。

#### (1) 「とちびより」の概要

- ・店舗面積 70.33 m<sup>2</sup>
- ・出展者 100 業者
- ・営業時間 午前8時～午後9時（年中無休）

#### (2) 「とちびより」の利用状況

- ・購入者数 199,667 名（547 名／日）

#### (3) 「とちびより」販売事業

##### ア 県産品の販売

県内で生産加工され若しくは主要な原材料が栃木県産である、菓子・地酒・地ビール・焼酎・工芸品等の特産品を販売するとともに、季節に応じた商品紹介やテーマ性を有するコーナー展開を行った。

##### イ 県産品オリジナルセット商品の販売

御中元、御歳暮等を中心に、県産品を詰め合わせた、県産品オリジナルセットを販売した。

##### ウ 物産展への参加及び外売の実施

集客の多い各種行事開催会場等において、随時外売を実施し、県産品の販路拡張、普及、宣伝に努めた。

##### エ 宇都宮観光コンベンション協会の観光推進事業との連携

宇都宮観光コンベンション協会の観光イベント等の催事に合わせ、広く県産品のPRや特産品の販売を行った。

#### (4) 新規県産品の発掘・紹介

県内市町や地域観光協会、商工団体、当協会の協力団体等と連携を密にして、商品の発掘及び情報の交換に努めた。

## VII 日光湯元レストハウス運営事業

日光湯元レストハウスを賃貸し、日光湯元地区の観光誘客促進及び観光客受入れ体制の強化を図った。

## 事業報告附属明細書

平成 30(2018)年度事業報告においては、「事業報告の内容を補足する重要な事項」に該当するものはない。